

社
SHA

楽
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.30

2014/07

6月25日から27日まで「社史フェア2014」を開催しました。前年に刊行された当館所蔵の社史を二百冊以上、平置きにして並べ、簡単な解説もつけました。

3日間で百名以上にご来場いただき、しかも、二時間、三時間と熱心にメモをとられている方がほとんどの「滞在型展示」となりました。関西など遠方から来場された方もいらつしやいました。

スタッフの予想を超える状況で、館内で余っている机を探しては、開場前に机と椅子を増やしていきました。

例のないイベントだったので、今回の「社楽」紙上では、皆様のアンケートを中心に、会場の様子を紹介いたします。



初の社史フェア、大盛況。

まず、目についた感想では「社史のトレンドを把握できた」「最近の社史の傾向を知ることができた」など。新しい社史をまとめて見ていただきたという企画の意図と重なってよかったです。

ほかに「一年間にこれほど社史が出ていたのに驚いた」といった感想もいただきました。

「目で見て楽しいもの、読み物として価値あるもの各々面白かったです」「単なる記録としてだけでなく、読みものとして読者に喜んでもらおう、自社の良いところをアピールしよう、印象度を高めようと工夫している社史を複数見ることができた」と、何冊も手に取ったゆえの感想も多数いただきました。手に取ることからの発見も、開催のコンセプトの一つでした。

(裏面に続く)

(表面から続く)

「いつも背表紙だけから選んでいます。オープンにしてあると見やすいです」「椅子に座ってゆっくり読むことができ、よかったです。社史を単に並べてあるだけでなく、2、3行のコメントをつけているのもよかったです」などスタッフの工夫への反応も嬉しかったです。会場で配布していた展示社史の一覧リストも、好評でした。

アンケートの項目では、来年度も開催を求める声が、ほぼ100%でした。なかには、「3日間では短い」「年に数回、開催してほしい」と「常設してほしい」といった声までも。皆様からいただいた多くの意見や感想を参考にしながら、来年度も開催できるように頑張っていきます。

また、さらに多くの社史を皆様にご覧いただく機会にしたいので、社史の寄贈や、社史刊行の情報提供など、ぜひよろしくお願ひ致します。

○

「お気に入りの社史」も、来場者に任意で書いていただきました。こちらは、ざっと見たところ、皆様、まちまちの社史をあげられていました。いくつか紹介させていただきます。

『トンボ鉛筆100年史』(読んでいて楽しくなりますね)。『カンロ100年史』(いずれの会社も創業時の話が面白いです)。『おかげにて180年/高島屋』(過去を記載するだけでなく、検証までしているところに好感が持てる)。

『日本集成材工業協同組合 50年のあゆみ』(木材が大型建造物の構造材として広範に使われていることが、多数の写真でよくわかった)。『琉球新報百二十年史』(働いている方やOB・OGらのコメントが記載されていて、生の声を伝え聞いた感じがします。実感を伴うコメントがあると、文書に厚みが増すような気がしました)。『持田製薬グループ100年の歩み』(年表形式でたいへん見やすい。年表型の好例といえる)。

：などなど、来場者それぞれに、さまざまな感想があったようです。「社史フェア2014」というイベントがきっかけで何か発見があったのだとしたら、主催者として、とても嬉しく思います。

(科学情報課・高田)

※アンケートの文章は簡略化や読みやすくするための手を入れた箇所もあります。ご了承ください。

7月9日(水)、東京・機械振興会館で開催された専門図書館協議会の全国研究集会で「社史室の魅力を発信する」と題して、1時間ほどの講演をしてきました。

この「社楽」も含め、社史フェア、社史の講演会など、社史関係の活動の様子を、写真を交えながら紹介してきました。講演の要旨は、雑誌『専門図書館』267号(2014年9月)にも掲載の予定です。ご興味がありましたら、ご覧ください。(高田)

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>